

その他の生きもの

写真提供:4takaたんけんたい

2016年も対象とした17種以外にもいろいろな生きものの報告がありました。その一部をご紹介します。

◆世田谷の貴重な生きもの（重要種*1）



2015年に確認されたサワガニ（甲殻類）やハグロトンボ（昆虫類）も引き続き確認されています。野毛や等々力といった湧水や河川のある場所で確認されています。ヒバカリは、森林や水辺を好んで生活しているので、等々力溪谷のような場所が必要です。モクスガニは川と海との連続性が必要です。

◆もともと世田谷にはいなかった生きもの（外来種*2）



2015年度世田谷区内撮影

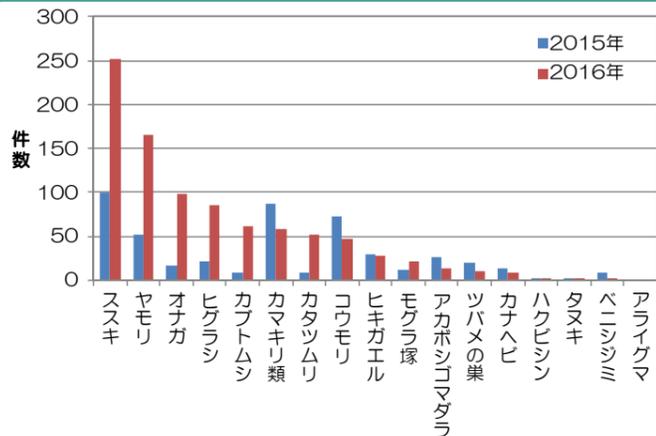
2015年に確認された鳥類のワカケホンセイインコ、甲殻類のアメリカザリガニなどに加え、爬虫類のミシシippアカミミガメの報告がありました。アライグマの確認はありませんが、引き続き注意が必要です。

*1 重要種:この資料では、東京都の絶滅危惧種について整理された「東京都レッドデータブック東京2013～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」に記載された種を重要種としました。

*2 外来種:もともと世田谷にはいなかったが人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことをいいます。生態系に大きな影響を与えることなどから、近年の環境問題の一つとなっています。

◆2015年と2016年の生きものしらべの報告件数の比較

2015年の報告件数は2418件、2016年の報告件数は4317件と大幅にふえました。特に、ススキ、ヤモリ、オナガなどのまちの中にも生活している動植物やまちの中に残る緑の多い環境に生活するヒグラシ、カブトムシなどの動物の報告件数がふえています。その他の動物の多くは、報告件数が減っていますが、確認種に重大な変化はなく、2015年と同様に引き続き確認されています。



まちの生きものしらべ 2016



世田谷には、どんな生きものがどこにどれだけいるか、いろいろな生きものが住める世田谷にするためにはどうしたらいいかを考えるきっかけとして、区ではまちの生きものしらべを行っています。

2016年報告数ランキング

調査対象:1~17位の17種

1位 ススキ (252件)

2位 ヤモリ (165件)

3位 オナガ (99件)

4位 ヒグラシ (85件)

5位 カブトムシ (62件)

6位 カマキリ類 (59件)

7位 カタツムリ (52件)

8位 コウモリ (47件)

9位 ヒキガエル (28件)

10位 モグラ塚 (22件)

11位 アカホシゴマダラ (13件)

12位 ツバメの巣 (10件)

13位 カナヘビ (9件)

14位 タヌキ (3件)

同率

14位 ハクビシン (3件)

16位 ベニシジミ (1件)

17位 アライグマ (0件)

その他の報告 (3408件)

調査期間:2016年7月11日~10月11日 報告件数:4318件

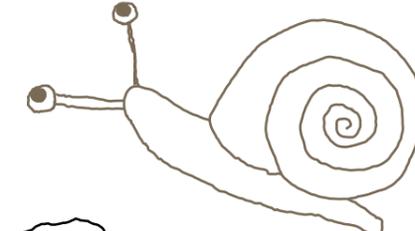
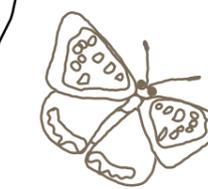
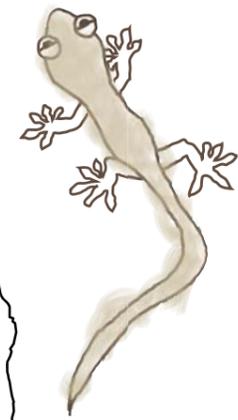
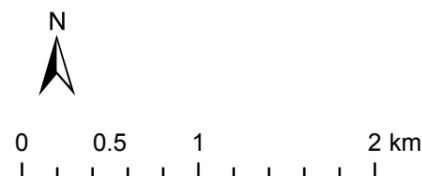
まちの生きものしらべ2016

地区別報告件数

- ①世田谷区内で多く見かける動物
 - オナガ(鳥類)
 - タヌキ(哺乳類)
 - カマキリ類(昆虫類)
 - ヒグラシ(昆虫類)
 - カタツムリ(陸貝)
 - モグラ塚(哺乳類)
- ②もともと世田谷にはいなかった動物
 - ハクビシン(哺乳類)
 - アライグマ(哺乳類)
 - アカボシゴマダラ(昆虫類)
 - ヒキガエル類(両生類)
- ③水辺や樹林をすみかにしている動物
 - ヒキガエル類(両生類)
- ④樹林や草地をすみかにしている動物
 - タヌキ(哺乳類)
 - カマキリ類(昆虫類)
 - ヒグラシ(昆虫類)
 - カタツムリ(陸貝)
 - モグラ塚(哺乳類)
- ⑤豊かな土にすむ動物
 - モグラ塚(哺乳類)
- ⑥市街地の緑を利用している動物
 - コウモリ(哺乳類)
 - ツバメの巣(鳥類)
 - ヤモリ(爬虫類)
- ⑦草地をすみかにしている動物
 - カナヘビ(爬虫類)
 - ベニシジミ(昆虫類)
- ⑧草地に生えている植物
 - ススキ(植物)



- ◆地区名の下に数字は報告件数を示します。
- ◆対象17種類の生きものの報告がなかった地区でも、別の生きものは確認されています。
- ◆アライグマの報告はありませんでした。



生きもの報告件数ベスト10

1. ススキ (252)
2. ヤモリ (165)
3. オナガ (99)
4. ヒグラシ (85)
5. カブトムシ (62)
6. カマキリ類 (59)
7. カタツムリ (52)
8. コウモリ (47)
9. ヒキガエル (28)
10. モグラ塚 (22)

※カッコ内の数字は報告件数

報告が多い場所ベスト10

1. 寺社 (247)
2. 公園・緑地・緑道 (232)
3. 一戸建・庭 (147)
4. 道 (73)
5. マンション・団地 (72)
6. 川 (34)
7. 学校・キャンパス (24)
8. 商店街 (18)
9. 空地 (17)
10. 駐車場 (14)

※カッコ内の数字は報告件数

2016年の生きものしらべについて

◆2016年は、2015年に引き続き区内61地区で、17種類の動物や植物についてしらべました。17種類は、左図の上①~⑧のような特徴や環境を代表する生きものから選んでいます。



◆確認報告が多かったのは、昨年と同じく、深沢地区、喜多見地区でした。



◆17種類のうち報告件数の1位は、昨年度同様にススキでした。ススキは区内の広い範囲に引き続き生育していることがわかりました。



◆ヤモリは、区内に広く確認されており、住宅地でもたくましく生息しています。

◆ヒキガエルは、国分寺崖線沿いの湧水や池などの水辺環境のある地域で確認されています。



◆外来種であるアカボシゴマダラは2015年は27件、2016年は13件、ハクビシンは2015年は2件、2016年は3件と昨年と同様に確認されていますが、目立って増えてはいません。



◆報告が多い場所の1位は「寺社」、2位は「公園・緑地・緑道」と、緑が多い場所で確認されています。